



日本共産党 川口知子 28
学校の教職員の増員を



問今、教員が14人不足している。子どもの豊かな学びを保障するためにも、教職員定数や本採用教員を増やすべきだが教育長の見解を伺う。

答教育長 教員の確保と資質・能力の向上は、大変重要な課題であると捉えている。
教職員定数を増やすことについては、引き続き、中核市教育長会等を通じ

て、国や県に対して要望していく。
また、本市は、中核市として教職員の研修権限があり、初任者研修を独自で実施し、育てられる

ことから、新規採用教員の本市への配置等を積極的に進めていきたいと考えており、県に対して継続的に要望していく。
問教職員の働く環境整備
問市営住宅の維持管理



日本共産党 長田雅基 29
校舎内ではなく単独整備を



問学童保育児童数増加で増室する際、保育のやりにくい学校の教室を使うのではなく、学校敷地外に新たに学童保育室を公設公営で整備する考えは。

答教育長 国は、学校は、放課後も児童が校外に移動せずに安全に過ごせる場所であることから、学校教育に支障が生じない限り、余裕教室等の積極的な活用を一層促進する

ものとしてしている。本市は全ての学童保育室が、学校敷地内にあることで安全性が確保できており、学校との連携によって緊急時において迅速な対応が可能となるなど、そのメリットは非常に大きい。従って、新たに整備が必要となった際は、学校と協議し学校内施設の活用により対応していきたい。
問学童保育の更なる改善



日本共産党 柿田有一 30
困難に寄り添う相談体制を



問高次脳機能障害で困難を抱えている人は、適切な支援があれば生活の質を高められる。相談体制拡充への考えを問う。

答福祉部長 川越市障害者総合支援センターにおいて実施している就労相談を充実させるなど、相談者の希望に寄り添った相談支援を行うとともに、どこに相談したらよいのか分からない高次脳機能

障害者や家族に対して、相談が可能であることの周知に努めていく。
併せて、市内の相談事業者の人材育成や医療と福祉の一体的な支援を受けられるよう、高次脳機能障害者支援センターを含む関係機関との連携を推進する。

問自給率向上と農業振興
問高次脳機能障害



政策フォーラム 山本綾子 31
4カ所の大規模公園見直し



問公園整備計画が策定された当時の社会情勢や、市の財政状況が変わってきている。整備計画も見直しの時期に来ているのでは？

答都市計画部長 大規模公園は計画規模が大きく、現在の社会情勢や財政状況を踏まえると、計画実現には多くの時間と費用がかかり、早期に整備を完了することは難しいと

考える。一方で、大規模公園の整備は、地域の活性化や潤いのある市民生活には必要不可欠な施設と考えている。こうした中で周辺状況の変化を踏まえ、優先順位を付けながら段階的に整備を進めることも含め、事業手法や計画規模などについて見直しを進めていく必要があると考える。
問公園整備計画

議会情報報

議員辞職

12月23日、明ヶ戸亮太議員から議長あてに議員の辞職願が提出され、同日、本会議において許可しました。

広報紙編集委員会

12月27日、片野広隆委員長から委員長の辞任願が提出され、これを許可しました。委員長が欠員となったため、委員長の互選を行った結果、今野英子副委員長が委員長に選出されました。

議会運営委員会

12月23日、明ヶ戸亮太議員の辞職に伴い、新たに倉嶋真史議員を委員に選任しました。

副委員長が欠員となったため、副委員長の互選を行った結果、糸真美子委員が副委員長に選出されました。

図書のリサイクルのご案内

川越市議会に設置されている図書室では、今年度の1月から、不要となった図書や雑誌等のリサイクルを始めました。

リサイクル資料の情報は市議会ホームページに掲載してありますので、下記の2次元コードからご覧ください。リサイクル資料の引き取りを希望される方は、議会事務局までご連絡ください。

なお、資料の引き渡しは議会事務局にて直接のお渡しとさせていただきます。

